

第4回

あれから30年 NVNAD2025プロジェクト

～みんなが助かる社会をめざして～

要申込み

2024年 8回シリーズ第4弾(参加費:500円)

4月20日 土 14:00-16:00

(受付:13:30~)

会場:西宮市民会館中会議室401(西宮市役所隣り)

地震や水害など災害が各地で多発しています。これはもう他人ごとではありません。自分たちの身近な『わがまちの防災・減災』について、この機会と一緒に考えてみませんか？

プログラム

14:00 開会挨拶
:05 イントロトーク(能登半島地震活動紹介)
:20 パネルディスカッション

参加賞
あり



テーマ 「子どもたちとつくる 地域防災マップの可能性」

<パネラー> 順不同・敬称略

- ・水谷 純基(日本損害保険協会 業務企画部啓発・教育・防災グループ係長)
- ・八ッ塚 としえ(NVNAD 元研究班)
- ・寺本 弘伸(NVNAD 常務理事)

<コーディネーター>

- ・渥美 公秀(大阪大学大学院 教授
NVNAD副理事長)

15:50 閉会挨拶
16:00 終了(会場の展示物を紹介)

※(内容は一部変更になる可能性があります)

定員:50名(先着順)※定員になり次第締め切ります。

主催:認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD)

共催:大阪大学災害ボランティアラボ

協賛:一般社団法人 日本損害保険協会

後援:兵庫県、西宮市、西宮市社会福祉協議会、NHK神戸放送局、サンテレビ、さくらFM

(申請予定) 神戸新聞社、読売新聞阪神支局、朝日新聞阪神支局、毎日新聞阪神支局、産経新聞神戸総局(順不同)



お申込み
お問い合わせ

日本災害救援ボランティアネットワーク事務局

TEL: 0798-34-9011 メール: nishinomiya@nvnad.or.jp

QRコードからもお申込みができます⇒



パネラー・コーディネーター紹介

水谷 純基

(一般社団法人 日本損害保険協会 業務企画部
啓発・教育・防災グループ 係長)パネラー



防災教育に取り組み、子どもたちが身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」の普及促進に従事。安全マップ作りにかかる指導者への講習の講師も担う。

ハツ塚 としえ

(NVNAD元研究班) パネラー



阪神大震災時は神戸大学大学院生。ボランティアとまちづくりに関する実践研究を行うなかで「わがまち再発見ワークショップ(ぼうさい探検隊)」の立ち上げメンバーとして参加。2004年から熊本市在住。

寺本 弘伸

(NVNAD常務理事) パネラー



NVNADの発足初期から団体活動に関わったメンバー。これまで15カ所以上の被災地支援活動に携わる。平時には講演活動や地域での防災イベントなど、防災・減災の啓発活動に関わる。

渥美 公秀

(大阪大学大学院 教授) コーディネーター



専門は社会心理学。防災講座の実績多数。NVNADには発足当初から携わり長年、理事長を務め、現在は副理事長。中越沖地震、東日本大震災にも、救援から復興へと関わってきている。

開催趣旨

日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD)は、1995年1月17日の阪神・淡路大震災をきっかけに、西宮市役所内に発足したボランティア団体(当時の名称は「西宮ボランティアネットワーク(NVN)」)です。発災当時、西宮市役所と連携して被災者の支援活動に従事したことが、のちに「西宮方式」と呼ばれるようになりました。発災以降、各地で発生した地震や水害など、これまで数多くの災害現場へ赴き、ボランティアの皆様と一緒に支援活動に関わってきました。また、それら被災地支援で学んだ教訓や経験をもとに、講演会や防災イベントを実施するなど、日頃の防災・減災の啓発活動にも精力的に取り組んできました。2025年1月17日にあの日から30年を迎えます。これまでの活動全体をふりかえり、当団体が様々な人たちと共に培ってきた災害救援や防災・減災のノウハウや経験を市民の皆様にお伝えしたいと思います。『みんなが助かる社会』を目指し、地域の絆やつながりの重要性を再確認し、この大切な想いや活動を未来につなげていくことを目的に、8回シリーズの公開シンポジウムを開催いたします。

NVNAD団体紹介



1995年1月20日ごろ。西宮市役所で支援物資を地下に搬入する市民ボランティア。この活動を原点として、その想いを継承し現在の活動の礎としています。



当団体は、阪神・淡路大震災から現在まで、災害が発生するなどの緊急時は被災地の救援活動、復興支援活動を続けてきました。また平常時には、地区防災計画づくりの為にまちごと防災セミナーや当団体が制作した防災アニメを活用したおやこ防災講座を行うなど、防災啓発活動にも力を入れています。